

滋賀県総合教育会議（2017/6/14）

「子どもたちの多様性に寄り添う教育」 検討に向けて

滋賀大学 教職大学院
大野 裕己 (Yasuki OHNO)

1 「子どもたちの多様性に寄り添う教育」を考える

● 「子どもたちの多様性に寄り添う」とは？

★多面的な能力や学力の観点に立つ ex. 「学力の三要素」)

- ・十分に力を伸ばし切れていない子どもたちが直面する「課題」に向き合う、解決する

- ・個性となりうる特性・力をさらに伸ばす

(※皆にとって学びやすい学習環境を実現する)

● 「多様性に寄り添う教育」の向かう先

- ・子どもたちが不確実な社会を生き抜いていくための支援
知識基盤社会、グローバル化、少子化・高齢化

多様な能力・個性で自立する個人が、他者と協働して、新たな価値を創出していく社会 社会－縮図としての教育

2 「子どもたちの多様性に寄り添う教育」の視野

- 「子どもたちの多様性に寄り添う教育」のポイント？
 - ・ 多様な課題・多面的な能力に働きかける－活きるの視野



地域・行政レベル

- ・ 現場の創意への条件整備（働き方等）
- ・ 学校－地域の循環的な協働関係

学校組織レベル

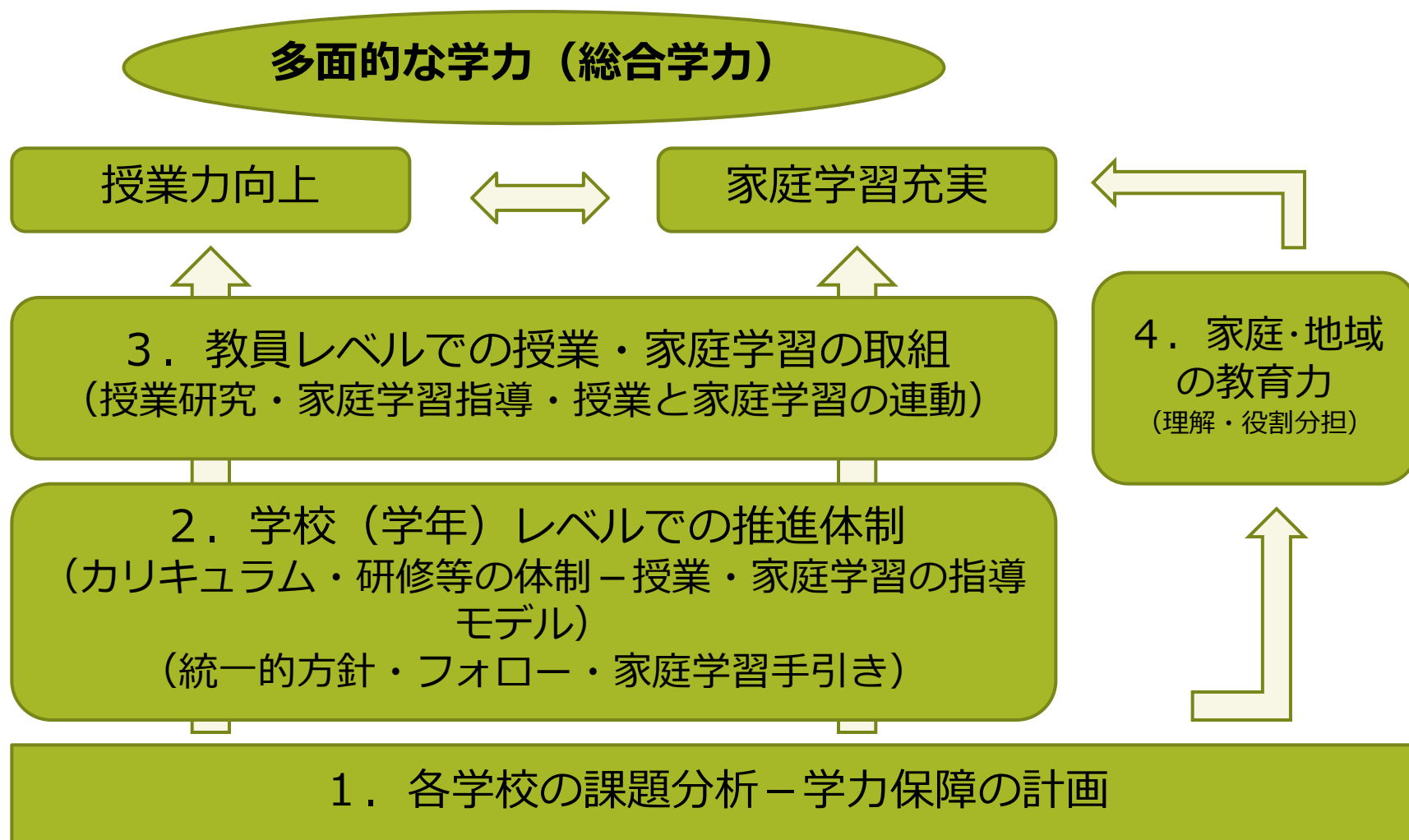
- ・ カリキュラム縦・横の連関性、校種間連携
- ・ 教員の創意・高め合い－教育場面構築

授業場面等

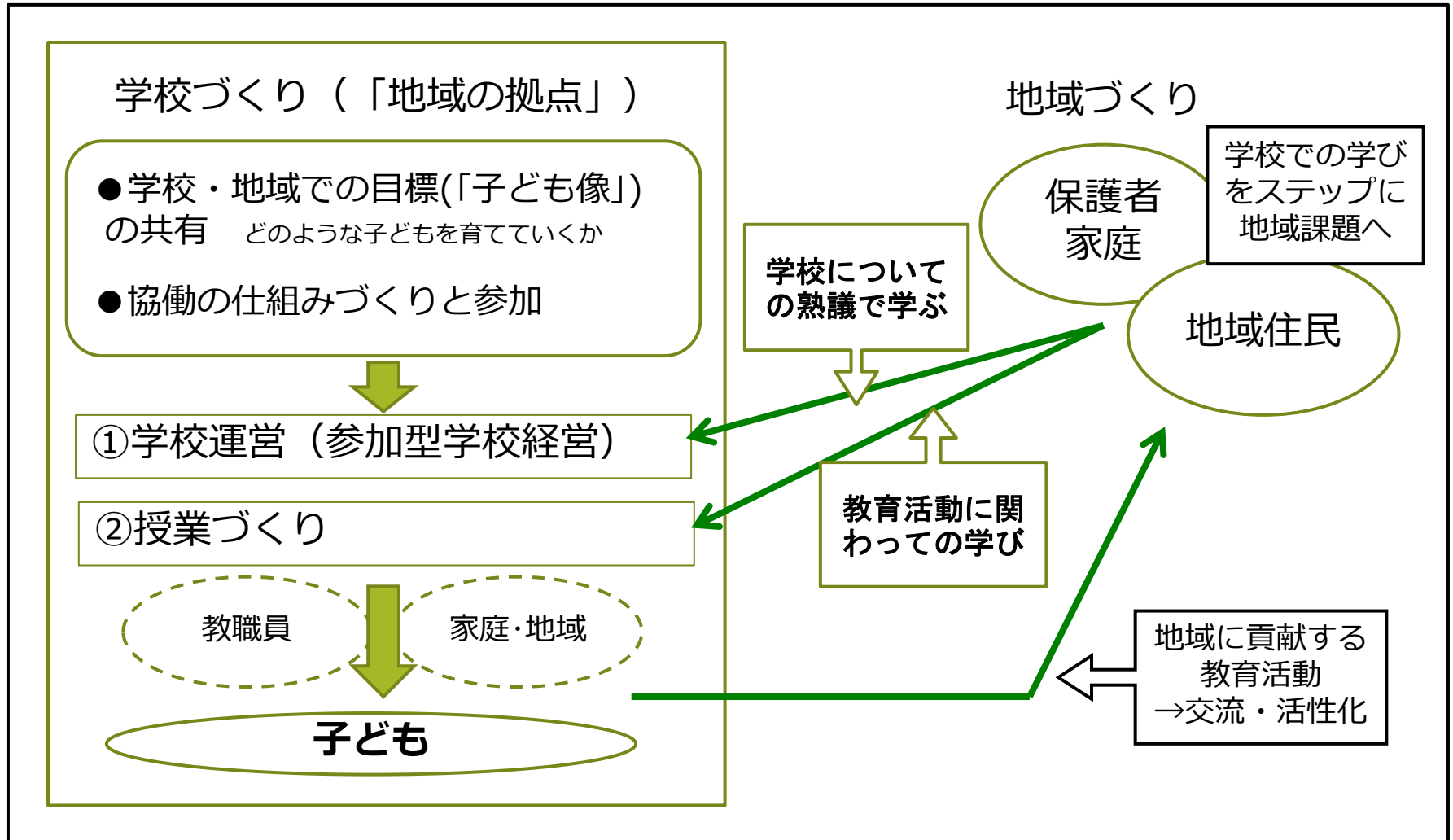
- ・ 子どもの課題の理解対応
- ・ 地域の特性を活かした多面的な能力形成

★多様性に寄り添うこと（多面的な能力や学力の育成）を、
「点－線－面で考える」

参考1：多面的な能力の保障に向けた学校の組織的取組の一試論（ベネッセ総合教育センター学力向上基本調査2008報告書を改編）



参考 2 : 学校－地域の循環的な協働関係モデル試論



3 「子どもたちの多様性に寄り添う教育」の検討に向けて

●テーマ案検討で意識したいこと

- ・「多様性に寄り添う」内実：①子どもたちが直面する「課題」に向き合う、②個性となりうる特性・力を伸ばす
- ・「多様性に寄り添う」目的論：自立・協働・創造の「教育の場」における実現
- ・「多様性に寄り添う」ことの条件整備・因果

→各テーマにおける論点（項目）の補強

→各テーマの基底をなす論点（項目）の意識
（※複数のテーマのつながりの意識）